

校長室通信

小国町立小国中学校

令和 5.1.20 (金) No30

文責 狭間卓史



「2023年 新春を迎えて」

12月22日(木)の午後、「門松づくり」を行いました。本校がこの取組を始めて今年で9回目となります。この取組は希望溢れる新年を迎える準備であると同時に、本校生徒会本部役員の新旧交代の機会として位置づけています。

本校では、「地域との交流」を活動の大切な柱としています。そのことは生徒にとっても同様であり、地域の学校として、「地域と共にある小国中学校づくりの推進」は、新しい生徒会本部役員にとっても大切にしたい視点です。そこで、保護者の皆さん方はもちろんのこと、地域の方々との接点としての門松づくりは、新旧生徒会の引き継ぎの場として何よりの貴重な機会だと思っています。

この日は時折雪が舞う寒い一日でしたが、指導役の地域の方々(小国町社会福祉協議会・シルバー人材センターの皆さん)と小国中学校のPTA役員さん方は、お昼過ぎには集ってくださり、下準備(材料の加工)に取り組んでくださいました。

材料となる竹については、今年も中学校PTA役員の佐藤嘉孝さんのおうちにご提供いただきました。この週は、様々な行事が立て込んでいたことで日程の調整が難しく、本校生徒会の出番は、最後の飾り付けの場面だけになってしまいましたが、皆さんの指導・助言をいただきながら、立派な門松が完成しました。

新型コロナウイルス感染症も収束の兆しが見えず、地域の方々との全面的な交流の復活はもう少し先のこととなりそうですが、いつその時が来ても大丈夫なように、その時々で、出来ることを探しながら取り組む本校でありたいと思っています。

地域の皆さん方にお手伝いいただきながら、保護者の皆様方と共に、生徒の笑顔溢れる学校づくりを更に進めていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。

「凛と咲く」

今週17日のことですが、「小国町学校運営協議会地域学校共同本部」の「花育活動応援団」の皆さんが、校舎前花壇の手入れをしてくださりました。寒風の中での作業にただただ感謝しかありません。冬景色の中であって、花壇の花々が凛と咲く様には何かしら元気をもらえます。登下校時の生徒も元気と癒やしを受け取っているはずです。本当にありがとうございました。



【下準備にもプロの技がたくさんでした】



【手前が佐藤嘉孝さん】



【家入教頭】



【小国町社会福祉協議会・PTA役員の皆さん方と新旧生徒会本部】

